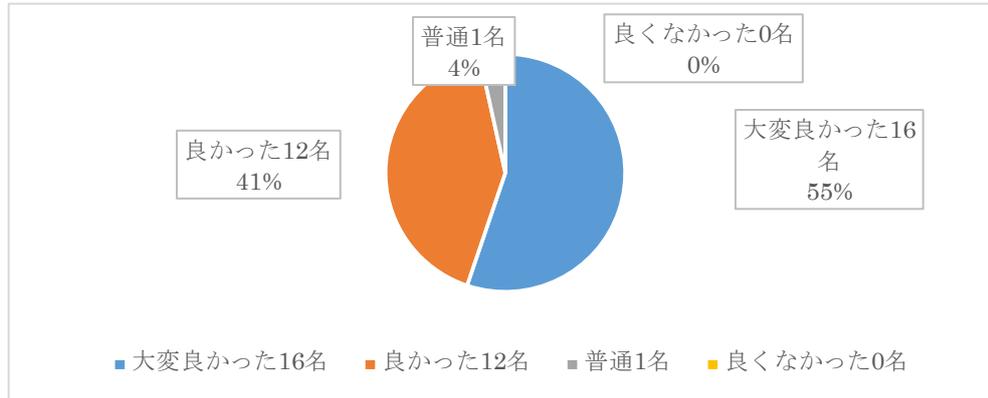


H29.9.2 研修会アンケート

『循環器疾患これだけ知れば一人前～検査技師のための知識整理～』

参加者：56名 回収率 52%(29名)

Q1 本日の研修会に参加して良かった。



理由：循環器疾患の整理ができた、詳しく知れた 4名 ・とてもわかりやすく興味深かった 5名
勉強になった 2名 生理検査以外の検査の話を聞いて良かった。
検査についての流れを把握できた・最新治療薬がわかった 2名 新しいデバイスの紹介 ・話が難しかった

Q2 本日一番心に残っている内容をご記入ください。

- ・ S-ICD 7名 ・ Micra 5名 ・ 治療薬について 4名 ・ 最先端の治療を学べたこと 6名
- ・ 検査からわかる病態そこから続いていく検査の流れ 2名 ・ 不整脈、失神 3名
- ・ 症状から循環器疾患を考える ・ 心不全の考え方 ・ DCM 治療前後の心エコー
- ・ ペースメーカー(心室同期不全の心エコー図、リード無くなることで感染リスク減少となる)
- ・ 最先端機器での治療を行っている岡病院はすごいと思った。治療が必要な身内や患者を紹介したい。

Q3 本日の研修会内容を今後どのように取り入れますか。

- ・ 職場で内容を共有したい ・ 検査を行う時病態を考えながら検査していくこと 4名
- ・ 知識を整理して生かしたい ・ WideQRS Dr へすぐ連絡、心電図緊急性を考えながら測定 2名
- ・ Dr 目線での診療、治療がよくわかり検査を見つめる目が変わりそうです。

Q4 今後どのような内容の研修会を希望しますか。

- ・ 心電図：読み方 3名 ホルター心電図 病態と検査所見のつながり
- ・ エコー：下肢エコー進め方 頸動脈エコー基準 ハンズオン 2名 心エコー 3名 腹部症例検討所見の書き方(立川 Dr 希望)
- ・ 肺機能：基礎 2名 いろいろな患者に対する対応方法(気切患者など)
- ・ 血液ガス：異なるメーカーで 2回/年
- ・ 脳波：波形の読み方
- ・ ABI：基礎、読み方 2名 フラグ電子希望 うまく計測できないときの対応 ABI と下肢血管の評価
- ・ その他：エンドパット

Q5 ご意見、ご要望があればご記入下さい。

- ・ 開催場所を明確に案内して欲しい(どこであるかわからず不安でした) ・ ドクター G 楽しみです。
- ・ わかりやすい講演、講義ありがとうございました。